

# 医事救護係

## 1. 事務分掌

(1) 救護室の開設準備、救護物品等の整理	(2) 医療従事者の対応
(3) 来所する傷病者の対応	(4) 医師・理学療法士の事務的補助

## 2. 業務内容

### ～ 競技開始前 ～

#### (1) ミーティング（以下「MT」という。）の実施・参加、開設準備

- ① 係長以上 MT への参加（場所：実施本部）
- ② 係 MT の実施（場所：救護所）
- ③ 物品の受領
  - 配備医薬品は救護室に搬入してあり、競技最終日まで救護室で保管する。
  - 競技別プログラムには選手一覧等が掲載されているため、処置記録兼診療依頼書を記入する際に活用する。
- ④ 応急処置用の氷の準備
  - 競技中の怪我は、救護室内の冷凍庫の氷で対応する。不足は総務係へ連絡する。
- ⑤ 配備医薬品のチェック
  - 配備医薬品の内容と配備数を一覧表でチェックする。
- ⑥ 救護室内の衛生チェック
  - 室内、机上、ベッドなどに汚れやごみがないかを確認する。
  - ベッドにはあらかじめ配備医薬品内のメディカルシートをベットシートの上から敷いておく。

#### (2) 医療従事者の対応

- ① 医療従事者の出迎え
  - 受付案内係から、医療従事者が到着した旨の連絡が入り次第、受付へ迎えに行き、救護室へ案内する。医療従事者に AD カード、弁当引換券を渡す。医療従事者の氏名を AD カードに記入してもらう。
  - 医療従事者の従事開始時間を業務日誌に記入する。  
※医療従事者の集合時間は、従事開始時間の 10 分前を目処に来るように依頼している。  
（各医療従事者の集合時間は業務日誌に記載）
  - 従事開始時間を 10 分過ぎても到着しない場合は、無線機で総務係長もしくは班長に報告し、医事救護係長が国スポ競技課医事救護担当（0952-40-7346）に連絡する。
- ② 医療従事者との MT の実施
  - 医療従事者が到着した後、係長以上 MT 等での連絡事項を伝え、医療従事者と医事救護係長で、傷病者発生時の対応を確認する。

### ～ 競技中 ～

#### (1) 待機時間、休憩時間及び昼食

- 競技中は、「救護室」に常駐し、医師、理学療法士のサポートをする。  
※公式練習日（10/4、5）は医師の派遣がないため、救護室に常駐し、救護物品の貸出等、選手・監督から要望があった際に対応する。（理学療法士の派遣は有）
- 待機中も無線機が聞こえる状態にし、競技進行や会場内の状況を常時把握できるようにする。
- 従事者で適宜交代して休憩をとる。必要であれば総務係長に連絡し、交代要員を派遣してもらう。  
ただし、傷病者が発生した際は直ぐに対応できるよう、携帯電話を持ち歩くなど連絡体制を整えること。

## (2) 配備医薬品の調整及び管理

- 医薬品を使用した際には、「医薬品等使用報告書」に記入し、残数を把握する。
- 不足しそうな医薬品がある場合は次のとおり対応する。

《当日中に補充が必要な場合》

- 「発注依頼書」に補充の必要数を記入する。
- 競技担当に連絡し、補充を依頼する。

《翌日までに補充が必要な場合》

- 「発注依頼書」に補充の必要数を記入する。
- 競技終了後の業務日誌提出の際に、競技担当に補充依頼をする

## (3) 体調不良者・傷病者の対応、書類作成等

- 別紙「対応マニュアル」参照

～ 競技終了後 ～

### (1) 医療従事者の従事終了

- ① 業務日誌記入、医療従事者用の物品返却受け取り
  - 競技終了後、医療従事者の従事終了・解散とし、従事終了時間を業務日誌に記載する。
  - AD カード、無線機、救護所物品を返却してもらう。
- ② 報告書等の作成・提出
  - 業務終了後、指定の記入様式を業務日誌と一緒に提出する。

### (2) 救護所の片づけ

- ① 医薬品の在庫確認
  - 【最終日】
  - 配備医薬品の在庫数と「医薬品等使用報告書」の使用数をチェックする。  
配備医薬品は実施本部に持って行く。
- ② 医療廃棄物
  - 医療用ごみについては、競技会最終日に実施本部に持って行く。